

夏山情報第1号 7 / 1

奥穂高へ行く 日帰り

最新情報も7月に入ったので、夏山情報として新たに発信することにしました。今後日帰りで行ける山を中心として、どんどん情報発信したいと思います。第1号は、穂高連邦の奥穂高岳です。もっとも最短コース、新穂高からの白出沢コースを選びました。一週間あまり、激しい雨でどうなるかと思ったのですが、Yahooの天気予報による調査で、長年の経験と感から、確実に晴れるところは、穂高連峰と判断して、決行しました。実に正解で、写真にある通りです。素晴らしい天気で、楽しい山行きとなりました。

森の中をただひたすら登ると、途中一箇所だけ笠ヶ岳の稜線が見える。いよいよ、白出大滝の展望台。奥の右側が奥穂高岳、奥の真中に小さく見えるのが、穂高山荘です。先の写真の案内板にある、重太郎橋はまだかけられていません、まだそこまで20mほど雪渓が残っています。



今日の長い長い山行きの中で、出会った登山者はたったの3人でした。奥穂高頂上の若者は、今日は岳沢の方面へいくとのこと、明日は天気なので頑張ってください。もう一人の登山者は、単独行、徳沢からこられたそうです。どなたも、名前も聞いていないので、HPを見られたら是非連絡ください。

今日の行程

富山(4:30) 新穂高温泉(6:30) 白沢小屋(7:30) 白出大滝(8:30)
穂高小屋(11:30) 奥穂高岳(12:40)

今日のあまりに長い行程にやや不安があったので、帰りのために、ライトをつけたマウンテンバイクを用意。ゲートが閉まったままで、ここから長い林道をいくことになる。途中の穂高平、ここは牧場で牛がのんびり草を食べていた。遠くに、北穂高岳・南岳・槍ヶ岳などが見える。



白出沢の出会い、白出小屋と案内版。ここまで軽くマウンテンバイクでと思ったのが、大きな間違い。
・・・荷物を負ったの登りは並大抵のものではなかった。・・・もう足が痙攣しそう・・・なれないことはすべきではないね。
・・・でも、もう一度、鍛えてこの程度は軽く上げるようにするか。



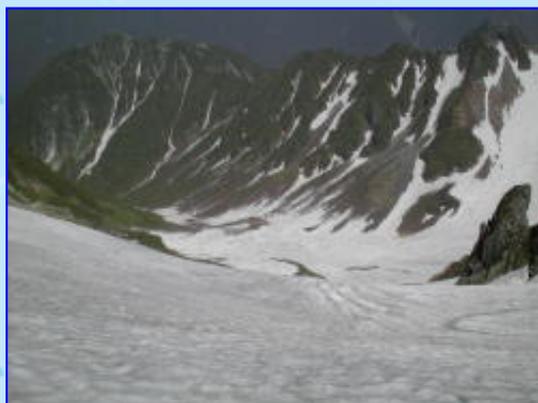
写真は、まず最初の難所です。ここを見るとやはり、この時期、初心者での単独行は避けた方がよいと思います。
右の写真は、雪渓が解け始めた沢沿いの芽吹きの花、遠くに笠ヶ岳が見える。



ようやく、本格的な雪渓に入る。ここからが近そうで、なかなか大変。想像以上に時間がかかってしまった。
特に、雪渓が切れてから、穂高山荘までが、要注意。さほどたいしたことのない沢であるが、ガラ場の浮石が大変。まだ雪渓が解け始めたばかりのところは、コース整備がなされていなくて、足をとられやすい。



とうとう、穂高山荘に到着した。なつかしい溜沢が見えた。ここまで一気にこれず、途中、昼食・大休憩を取らざるを得なかったのは残念であった。やはり、予想以上に長いコースでした。



奥穂高のシャクナゲ、登山標識から北穂高、槍ヶ岳の素晴らしい眺め・・・感動ですね。



晴れとはいえ、穂高連峰はいつもガスが出る。前穂高岳はガスでほとんど見えない。ジャンダルムがその雄姿を見せてくれたのが慰めてある。北穂高・槍も時折、ガスで見え隠れする。



***今日の出会い



